



学校だより

令和5年8月28日
横浜市立上白根小学校
【9月号】



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



夏の出来事から

校長 小嶋 一喜

7月、ニイニイゼミが鳴き始めた頃から夏休みに入り、8月は暑いときに鳴くクマゼミの鳴き声が響く日が多く、9月を前にしてもまだ暑さが厳しいこの頃です。この夏の出来事をいくつか紹介します。

まず、地域のお祭りの様子です。旭北連合自治会、上白根町内会の2つに顔を出させていただきました。どちらも大盛況で、多くの人々がお祭りを楽しんでいました。子どもたちの中には、浴衣を着ている子もいて、出店で買ったものを食べながら、ご家族で楽しんでいる様子を拝見しました。準備に携わった地域の皆様、お疲れさまでした。笑顔があふれる地域の催しが、これからさらに復活していくことを子どもたちも期待していると思います。学校としても、地域と連携してできることを行っていきたいと思っています。よろしく願いいたします。



次に、学校の中がきれいになりました。子どもたちがいないときに、技術員さんが廊下をきれいにワックスがけをしてくださいました。職員室、校長室もきれいになりました。「休み明けにみんなが気持ちよく生活できるように」という思いがこもっています。夏休み前には、6年生を中心に廊下に落ちているごみを拾う姿や自分たちで進んで清掃活動に取り組む姿が見られました。これからも、みんなで気持ちの良い環境を保てるようにしていきたいと思っています。

最後に、友達についてです。この夏30年ぶりに大学の同級生に会う機会がありました。互いに年を重ねてきたので、学生当時とは髪の毛の色やしわの数が違いますが、歩いてこちらに向かってくる姿を見て、すぐに友達だと分かりました。高校の教員をしている友達の話は、とても新鮮で小学校との違いを多く感じました。改めて友達から学ぶことが多く、友達の大切さを感じました。高校生の話の中で、小学校と共通していたのは、一人ひとりを大切にすることです。その子の様子をしっかりと把握し、適切なかわり方を考えて接することで、成長を促しているそうです。夏休みを終えて、学校に戻ってきた子どもたちをしっかりと把握して、全職員で適切なかわりをしていきたいと思っています。